

令和4年12月11日(日) 正月準備 大しめ縄など製作

神社関係者及びOBの方々総出で行われました。大しめ縄など大量のしめ縄を製作します。

先週の篝火組み上げに続き今週・来週の準備を経て越年祭・元旦祭を迎える、一番忙しい月です。



昨年の大しめ縄に合わせて、長さ・太さを調整



大勢のOBの方々が参加



大しめ縄の仕上げ



3本完成 宮司が確認



続々と細いしめ縄が完成 (50本ほど製作します)



10人掛りで太い3本を左に擦る



竹に取り付け



大しめ縄を拝殿に取り付け





昨年より太い仕上がりとりました



まだまだ作業は続きます



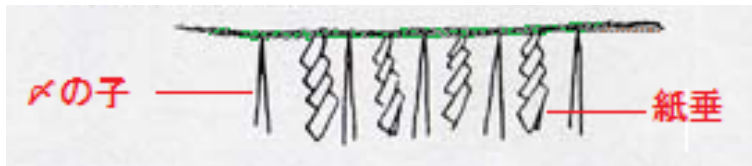
しめの子を付け今日はこれまで 紙垂は後程



古いしめ縄は篝火として燃やされます

**しめなわ** {標縄・注連縄・七五三縄} (シメは占めるの意) 神前または神事の場に不浄なものの侵入を禁ずる印として張る縄。一般には、新年に門戸に、また、神棚に張る。左捻(よ)りを定式とし、三筋・五筋・七筋と、順次に藁の茎を捻り放して垂れ、その間々に紙垂(かみしで)を下げる。(広辞苑より)

人からみたとき(下の図)に元の太い部分が右側に、紙垂は左下がりになるように飾ります。



[しめ縄の豆知識](#)